

資 料 提 供
令和5年7月20日
里山振興室 中村
内線 4608
外線 (076) 225-1608

世界農業遺産を通じた国際貢献に関する
東京農業大学インターンシップ研修での知事激励の実施について

石川県では、平成23年6月の世界農業遺産「能登の里山里海」の認定を機に、開発途上国における世界農業遺産の認定や地域活性化に貢献するため、開発途上国の自治体職員など海外からの研修生を積極的に受け入れています。

こうした中、より実践的な研修を受講したいという開発途上国の要望に応えるため、昨年度から新たにインターンシップ研修を設け、まずは、様々な国からの留学生が在籍する東京農業大学の留学生を受け入れております。

本年度の研修実施にあたり、知事による参加学生への激励を下記のとおり実施いたします。

記

- 1 日 時 令和5年7月23日（日） 13：20～13：40
- 2 場 所 本多の森会議室2階 第3会議室
（金沢市石引4-17-1）
- 3 参 加 者 東京農業大学の留学生等 20名
同大学の海外協定校の学生（ケニア、モンゴル等） 10名
ほか引率教員
- 4 次 第 ①今回の研修概要説明
東京農業大学グローバル連携センター
副センター長 宮浦 理恵
②参加学生代表からの決意表明
東京農業大学農学科3年 李 嘉萌（リ ジャモン）
③知事からの激励
石川県知事 馳 浩
④質疑応答
⑤記念撮影
- 5 インターンシップ研修全体の日程及び内容 別添のとおり

行程及び内容 (東京農大インターンシップ研修)

	時間	場所	分野	内容	
7/23 (日)	午前	小松空港・金沢駅	移動	集合(移動手段:大型バス)	
	午後	13:20-14:20	本多の森ホール	講義	知事激励(13:20-13:40)、研修オリエンテーション
		14:30-16:30	石川県立歴史博物館	視察	・能登の農業や食文化とつながる地域的背景の理解
7/24 (月)	午前	9:00-12:00	農事組合法人 能登やまびこ	就業体験①	・農家経営における直売所の活用方法の学習 ・収穫から調整、出荷、直売所への納入までのノウハウの習得 ・農産物の加工による付加価値向上の事例を学習
		12:15-13:30	道の駅織姫の里		・出荷後の農産物の販売状況について視察し、陳列等の工夫を学習
	午後	14:00-16:30	アグリスターオナガ (ライスセンター、邑知ふれあいセンター)	就業体験②	・農家経営における直売所の活用方法の学習 ・収穫から調整、出荷、直売所への納入までのノウハウの習得 ・農産物の加工による付加価値向上の事例を学習 (最終日に、納入先の一つである道の駅のと千里浜で販売状況を視察)
7/25 (火)	午前	9:00-12:00	JA能登わかば	講義	・「JAが実施している農家所得向上の取組と地域振興の取組について」(講義) 直売所、加工品、中島菜のブランド化の取組など
				就業体験③	JAが運営する直売所において、直売所の運営ノウハウを習得 ・バックヤード(農家による農産品の持込～陳列～販売)の運営と販売管理方法 ・集客(新規顧客の確保、リピーター確保)方法や購買意欲を高める工夫について習得
	午後	13:30-17:00	神子の里	講義・視察	・「神子原の振興とブランド化」(講義) 直売所の運営を通じた地域振興の取組や収益力向上のための取組事例を学習 ・「神子原の棚田」(視察) 地域のあたりまえの風景を、地域振興やブランド化につなげている事例について学習
7/26 (水)	午前	10:00-13:00	里山まるごとホテル	就業体験⑤	・移住から農家民宿の開業、経営安定化までの実際のプロセスの学習 ・農家民宿や農家レストランにおける接客(おもてなし)の工夫の習得(滞在メニューの提供等)
		午後	13:30-15:30	能登ワイン	視察
	夕方	16:00-17:00	春蘭の里(こぶし)	講義	「農家民宿を通じた地域振興や所得向上に向けた取組について」(講義) ・地域資源の掘り起こし、集客方法の工夫 ・観光客誘致のためのハード面での整備 ・農家民宿群としての運営上の工夫 ・行政との連携
7/27 (木)	終日	-	春蘭の里	農家民宿 就業体験⑥	・農家民宿の経営と接客(おもてなし) ・地域の食材や加工技術を活用した食事の提供について学習 ・農家民宿で提供している滞在メニュー体験
7/28 (金)	午前	9:50-10:30	道の駅のと千里浜	視察	農家から出荷された農産物の販売状況や陳列等の工夫を学習
	午後	-	金沢駅	移動	解散